

平成5年度（1993年度）

1. シンポジウム

実施月日	テーマ・演題	コーディネータ・講師
平成5年 12月20日 (月) 参加者 192名	『寿命の科学 —細胞の生命と個体の生命—』 — 演題 — ・細胞死とがん遺伝子 ・bc1-2による細胞死の抑制 ・Fas抗原を介した細胞死と個体死 ・脳虚血と神経細胞死 ・アルツハイマー病研究の歴史的背景 ・アミロイドタンパク質を介した細胞死と老化	大阪バイオサイエンス研究所 部長 長田 重一 東京大学医学部 教授 井原 康夫 — 講師 — 国立がんセンター研究所 部長 口野 嘉幸 大阪大学医学部 教授 辻本 賀英 長田 重一 東京大学医学部 教授 桐野 高明 井原 康夫 東京都神経科学総合研究所 副参事研究員 吉川 和明

2. セミナー

実施月日	テーマ・演題	コーディネータ・講師
平成5年 4月23日 (金) 参加者 36名	『老化と老年病（2）—最近の進歩—』 — 演題 — ・加齢と疾患—老年病の現状— ・老化の生理学 ・老年痴呆の生化学 ・アルツハイマー病の分子生物及び分子遺伝学 ・長寿の疫学的考察	大阪大学 名誉教授 熊原 雄一 大阪大学医学部 教授 荻原 俊男 — 講師 — 東京都老人医療センター 院長 蔵本 築 山梨医科大学 副学長 入来 正躬 大阪大学医学部 教授 西村 健 東京医科歯科大学 教授 宮武 正 琉球大学医学部 教授 松崎 俊久
6月28日 (月) 参加者 200名	特別セミナー 『Gene Expression in Medicine —遺伝子の発現と医学への貢献—』 — 演題 — ・Activators, TAFs and TBP: Simple Concepts, Complex Structures ・Regulation of A Transcription Factor efp by Estrogen Receptor ・IRF-1 and IRF-2: Regulators of The Interferon System and Oncogenesis ・Models of Immunodeficiency ・NFIL-6 in Acute Phase Reaction: A Model System for Cytokine Signaling Pathway ・Anatomy of An Enhancer ・Oncogenic Protein Tax of HTLV-1 : A New Clue in Understanding Regulation of Transcription and Proliferation of Lymphoid Cells ・The Retinoblastoma Protein, Its Partners and Relatives	埼玉医科大学 教授 村松 正實 大阪大学細胞生体工学センター 教授 谷口 維紹 — 講師 — University of California, Berkeley・ Tularik, Inc., USA Robert Tjian 埼玉医科大学 教授 村松 正實 大阪大学細胞生体工学センター 教授 谷口 維紹 Harvard Medical School Laurie H. Glimcher 大阪大学細胞生体工学センター 助手 審良 静男 Tularik, Inc., USA Steven McKnight 東京大学医学部 教授 吉田 光昭 MGH Cancer Center Ed Harlow
12月2日 (木) 参加者 240名	『骨粗鬆症の薬物療法の今後の動向 —新しい治療薬を求めて—』 — 演題 — ・我が国における骨粗鬆症の疫学的背景 と薬物治療の現状 ・骨の維持機構からみた骨粗鬆症の病態 と治療薬開発のアプローチ ・骨塩定量の新技術 —診断と治療効果の検定のために— ・骨粗鬆症の治療薬開発の今後 1. 女性ホルモン療法の今後の展望 —副作用の克服とDDS—	大阪大学医学部 助教授 高岡 邦夫 昭和大学歯学部 教授 須田 立雄 — 講師 — 鳥取大学医学部 教授 山本 吉藏 昭和大学歯学部 教授 須田 立雄 滋賀医科大学 教授 森田 陸司 大阪大学医学部 講師 廣田 憲二

	2. 骨吸収抑制剤の効果と問題点 ①Bisphosphonates の今後 2. 骨吸収抑制剤の効果と問題点 ②Chimeric Calcitonin 3. 骨の局所因子（骨形成因子）と骨粗鬆症	山之内製薬株式会社 研究所長 川島 博行 中外製薬株式会社医薬企画第二部副部長 村山榮五郎 大阪大学医学部 助教授 高岡 邦夫
平成6年 1月21日 (金) 参加者 111名	幹細胞シリーズ 第3回 『食細胞系』 — 演題 — ・マクロファージ ・破骨細胞 ・ミクログリア ・樹状細胞 ・好中球 ・無脊椎動物の食細胞	京都大学理学部 教授 村松 繁 京都大学理学部 助教授 稲葉 カヨ — 講師 — 熊本大学医学部 教授 高橋 潔 明海大学歯学部 教授 久米川正好 藤田保健衛生大学医学部 講師 錫村 明生 京都大学理学部 助教授 稲葉 カヨ 山形大学医学部 教授 仙道富士郎 埼玉医科大学短期大学 教授 和合 治久
3月11日 (金) 参加者 131名	ブレインサイエンスシリーズ 第6回 『脳と免疫のクロストーク』 — 演題 — ・中枢神経系の サイトカインネットワーク ・c-kit レセプターの神経系における機能 ・神経・内分泌・免疫系のクロストーク ・気道アレルギーと神経ペプチド ・視床下部-交感神経系による免疫系の制御	大阪大学医学部 教授 遠山 正彌 — 講師 — 藤田保健衛生大学医学部 講師 錫村 明生 名古屋大学理学部 助手 平田たつみ 東京都老人総合研究所 部長 広川 勝彦 大阪大学医学部 助手 武田 憲昭 九州大学医学部 講師 片淵 俊彦

3. 千里ライフサイエンス技術講習会

開催日	テーマ・演題	コーディネータ・講師
第3回 平成5年 9月2日 参加者 5名 9月3日 参加者 10名	『神経科学』 — 演題 — ①パッチクランプ法 (大阪市立大学医学部) ②マイクロインジェクション法 (大阪大学医学部)	コーディネータ・講師 大阪大学医学部 教授 遠山 正彌 奈良先端科学技術大学院大学 教授 塩坂 貞夫 大阪大学医学部 助教授 木山 博資 — 講師 — 大阪市立大学医学部 助教授 久野みゆき 大阪大学医学部 教授 米田 悦啓

4. 千里ライフサイエンス市民公開講座「成人病シリーズ」

コーディネータ：国立循環器病センター 名誉総長 尾前 照雄

実施月日	テーマ・演題	コーディネータ・講師
第7回 平成5年 7月17日 参加者 348名	『糖尿病』 — 演題 — ・開催にあたって ・文明社会と糖尿病 ・糖尿病と高血圧 ・糖尿病治療のコツ	尾前 照雄、岡田 善雄 — 講師 — 岡田 善雄 兵庫県立成人病臨床研究 所長 馬場 茂明 尾前 照雄 東京都済生会中央病院 副院長 松岡 健平
第8回 11月20日 参加者 317名	『食事と健康』 — 演題 — ・開催にあたって ・食生活と健康 ・健康のための食生活 ・咀嚼と健康	尾前 照雄、田中 武彦、岡田 善雄 — 座長 — 岡田 善雄 大阪大学 名誉教授 田中 武彦 辻学園栄養専門学校 広田 孝子 福岡大学医学部歯科口腔外科学講座 教授 都 温彦

第9回 平成6年 3月17日 参加者 345名	『アレルギー』 — 演題 — ・開催にあたって ・大人の喘息 ・子供のアレルギー、アトピー性皮膚炎 ・アレルギーとは	尾前 照雄、岸本 忠三、岡田 善雄 — 座長 — 岡田 善雄 近畿大学医学部 教授 中島 重徳 国立小児病院免疫アレルギー研究部 部長 飯倉 洋治 大阪大学医学部 教授 岸本 忠三

5. 千里ライフサイエンスフォーラム

実施月日	テーマ・講演	講師名(所属)
9回 平成5年 4月16日 参加者 26名	『ライフサイエンスセンター構想』 —利根川進氏を関西に迎える—	京都大学ウイルス研究所 所長 畑中 正一
10回 5月21日 参加者 37名	『急速に広がるエイズに対する各国の対応』	大阪大学微生物病研究所 教授 栗村 敬
11回 6月18日 参加者 37名	『虫たちの生態を化学で語れば』 —化学生態学外論—	立命館大学理工学部科学科 教授 深海 浩
12回 7月14日 参加者 36名	『大観光時代と日本』 —観光人類学の可能性—	国立民族学博物館 助教授 石森 秀三
13回 8月19日 参加者 53名	『ワインとの新しい出会い』	サントリー(株) シニアワインアドバイザー 妻形摂津子
14回 9月17日 参加者 41名	『科学と幸福』 —比較的幸学的考察— [KRFとのジョイントフォーラム]	京都大学文学部 部長 中川 久定
15回 10月22日 参加者 46名	『動脈硬化の予防に働く日本人の食生活と文化』	国立循環器病センター研究所 副所長 山本 章
16回 11月19日 参加者 48名	『景気の見方』	三和総合研究所 理事 松下 滋
17回 12月17日 参加者 26名	『動物バイオテクノロジーの現状と展望』	京都大学 名誉教授 入谷 明
18回 平成5年 1月27日 参加者 44名	『東アジアと古代の日本』	大阪女子大学 学長 上田 正明
19回 2月25日 参加者 29名	『コンピューター民族学』	国立民族学博物館 教授 杉田 繁治

20回 3月16日 参加者 37名	『法律世相講話』	近畿合同法律事務所 辯護士 野間 督司
----------------------------	----------	---------------------